

3月31日(水) 晴れ 「は～やく実がなれ・・・」ナガバモミジイチゴ



葉がモミジの葉に似ていることからこの名が。木苺(キイチゴ)の中では最もおいしいとされています。手の届くいたる所にあります。



「オ～なんと健気な!!」

この冬に完全に折れてしまった太い桜木。まさに“有終の美”か。ちょっと胸が詰まります。せめて記録にでも。

4月2日(金) 晴れ 「魅力満載！」



クロモジがかわいい花をつけました。枝は高級楊枝の材料として有名。冬のイベントでは、「もちばな」を作る予定です。その前に、まずはクロモジ茶に挑戦！和製ハーブティとも言える風味とか。風呂に入れておけばハーブ風呂？



庭木、公園樹、盆栽などに人気のあるアセビです。万葉集にも歌があり、俳句ではアセビの花は春の季語です。ただ、「馬酔木」と書くように、株全体に毒性があり、鹿が食べ荒らす山地では、アセビが食べ残されて繁茂する状況になります。(散策路)

4月6日(火) 晴れ 「里山レンジャー出動!!」



この冬には、散策路周辺の樹木や枯れ木の多くの倒木がありました。4月29日の「新緑トレッキング」イベントに間に合うように、散策路整備を進めています。



トキワイカリソウ

花は錨(いかり)に似ており、年中葉を付けているので、イカリソウに常盤(ときわ)が付いたとか。イカリソウは太平洋側にトキワイカリソウは日本海側に分布しますので、当地のものは、すべてトキワイカリソウです。

(散策路・ビオトープ)



ナガバタチツボスマレ

タチツボスマレに似ていますが、立ち上がる茎に付く葉が細長くなります。

4月9日（金）曇り



ニリンソウ

キクザキイチゲのピークが過ぎる頃、溪流沿いや林床に群れて白い花を付けます。

1本の茎から2輪の花を付けます（1輪の場合もあります）。春の山菜の一つでもあります。若葉は、猛毒のトリカブトと区別がとても難しい上に、混在もしているので、花を愛でるだけにするのが良いかと。

ちなみに、当地にはトリカブトは確認されていません。（山の恵みビオトープ）



オオタチツボスマレ

雪の多い地域の林の縁などに生育する大型のスマレです。



#### マムシグサ

食虫植物のような花を付けます。茎の様  
はまさにマムシ。球根は大きくなり、デンプ  
ン質を多く含みます。毒抜きをすれば食べる  
ことはできますが…。

戦時中の食料難や飢饉のときの非常食とし  
て人の命をつないでくれたとのこと。